

地域に学び、地域に還元する「つながり」の構築と実践

～高付加価値を生み出す創造力と技術力の育成～

コンソーシアム（地域社会のつながりの構築及び教育目標の共有、カリキュラム開発）

福井大学 福井工業大学 福井県経営者協会 福井県機械工業協同組合 ITOMO 福井県電業協会 福井県情報システム工業会 福井市商工労働部商工振興課 社西公民館
 NPO法人今庄旅館 福井県中学校長会 福井県産業労働部労働政策課 福井県教育庁

令和2年度の目標

地域の現状

- 受動的で安定志向が強い県民性
- 下請け構造のため、商品開発の企画力、応用力が弱い



育成する地域人材像

- ・ 工業の高い知識と技術力を身につけた人材
- ・ 地域の一員として積極的に関わる人材
- ・ 福井の工業に新しい価値を生み出す人材

取組状況

産業技術探究

学校設定科目 2年全学科履修

問題解決学習



ブレインストーミング



演習

高度資格取得

令和2年度各種資格・検定の取得・合格者数 延べ733名

- ▶ 工事担任者DD一種 40名
 - ▶ 情報通信エンジニア 15名
 - ▶ 第二種電気工事士 64名
 - ▶ 一級陸上無線技士 1名
- ジュニアマイスター 認定者数 65名
全国上位30校 優秀学校表彰



パネル発表



パネル発表

講演（眼鏡、電気、情報、繊維、知財）



講演（エネルギー）



講演（知的財産）

体験型仕事説明会

県内企業を招き生徒が仕事体験



体験型仕事説明会

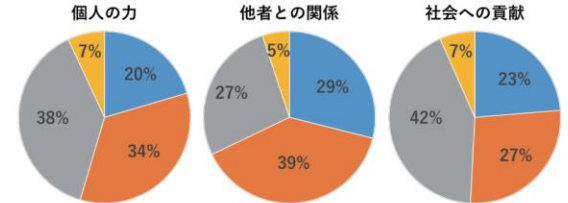
技術指導

新素材、太陽光発電、Tig溶接等



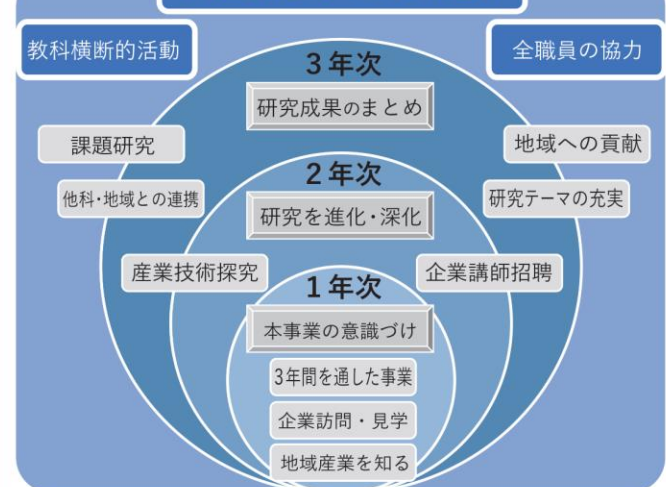
応用繊維技術

成果と課題



A評価 生徒が進んで目指す到達目標 C評価 「できた」評価最低基準
 B評価 教員が生徒に達成させるべき到達目標 D評価 「できなかった」評価
 ※ルーブリック評価表による自己評価アンケート集計結果【3観点における4段階(ABCD)評価】の割合
 ※母数=427

学校全体としての取り組み



- 課題
- ① 授業とプログラムの内容を連携させ、生徒が取り組みやすいように工夫する。
 - ② 1、2年次の活動が3年次につながるという意識を常に持たせる。
 - ③ 各自の活動を「社会への貢献」につなげていくことを意識させる。

KAGI-Lab【科技ラボ】

(課題研究・実習)

起業家精神の育成、ものづくりによる課題解決の場

地域連携、学校連携



高校総体カウントダウンボード



東浦みかんProject



社西公民へ紙芝居セット寄贈



今庄宿の市

企業連携



ランドセルの開発

海外研修

英語によるプレゼンテーション



シンガポール交流会